

今週（9月1日から9月5日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが堅調に見られたため、出合いの水準は0.475～0.478%の横ばい圏での推移となった。2日(火)、3日(水)には試し取りを実施する先があったことから付利金利を上回る水準での出合いも一部見られた。

ターム物に関しては、1W～3Mの幅広い期間で引き合いが散見されたが、ビッドサイドの資金調達ニーズがやや弱く、新規で目立った動きは見られなかった。

日銀当座預金は、1日(月)に521兆円程度でスタートした。その後は、2日(火)に税揚げの前倒し、3日(水)に10年債発行と税揚げ等により515兆円程度まで減少した。4日(木)以降は国債買入オペにより516兆円台に増加し、5日(金)も横ばい圏で推移した結果、516兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGCT/Nは、0.485～0.495%での出合いとなった。週を通してオファーサイドのニーズが安定的に見られたため、レートは付利近辺での推移となった。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。

5日(金)に実施された3M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、卸売、石油などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、週を通して25兆円台後半で安定して推移する展開となった。

発行レートは引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/1 (月)	42,188.79	1.620	147.23	0.477	0.491	5,211,000
9/2 (火)	42,310.49	1.600	147.36	0.478	0.492	5,185,500
9/3 (水)	41,938.89	1.630	148.75	0.478	0.488	5,153,700
9/4 (木)	42,580.27	1.600	147.99	0.479	0.485	5,165,400
9/5 (金)	43,018.75	1.570	148.21	0.477	0.491	5,163,000

来週（9月8日から9月12日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/8 (月)	4-6月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 7月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 8月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	流動性供給 9/9発行 6,000億円	7月の米消費者信用残高
9/9 (火)	8月のマネーストック(日銀 8:50)	TDB 6M 9/10発行 35,000億円	
9/10 (水)		5Y 9/11発行 24,000億円	8月の米生産者物価指数 7月の米卸売売上高
9/11 (木)	8月の企業物価指数(日銀 8:50) 7-9月期の法人企業景気予測調査季報(内閣府・財務省 8:50)	I補給-借入 9/22借入 6,613億円	ECB定例理事会 8月の米消費者物価指数 8月の米財政収支
9/12 (金)		TDB 3M 流動性供給 9/16発行 9/16発行 43,000億円 6,500億円	9月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/8 (月) 日銀予想	400	▲ 6,600	▲ 6,200	国債補充	200		200	▲ 6,000	TDB3M発行▲43,000償還44,000
9/9 (火) 弊社予想	1,000	▲ 8,500	▲ 7,500				0	▲ 7,500	流動性供給▲6,000
9/10 (水) 弊社予想	500	▲ 3,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	TDB6M発行▲35,000償還35,000 交付税借入▲10,000期日12,000
9/11 (木) 弊社予想	500	▲ 30,000	▲ 29,500				0	▲ 29,500	5Y発行▲24,000
9/12 (金) 弊社予想	▲ 600	1,000	400	貸出増加	▲ 149,100		▲ 149,100	▲ 148,700	源泉税揚げ 社会保障費払い
週間合計	1,800	▲ 47,100	▲ 45,300	—	▲ 148,900	0	▲ 148,900	▲ 194,200	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.485~0.500%程度の水準で推移することが予想される。短期市場は、9日(火)に6M物、12日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、8日(月)に4-6月期のGDP 2次速報、7月の国際収支、11日(木)に8月の企業物価指数、7-9月期の法人企業景気予測調査季報、海外では、10日(水)に8月の米生産者物価指数、11日(木)にECB定例理事会、8月の米消費者物価指数、8月の米財政収支などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまよう願ひ申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。